

共生

奈良県生協連

2021年7月

NO.121



奈良県生協連第32期通常総会



若者応援プロジェクト奈良



当日お配りした食材

もくじ

奈良県生協連第32期通常総会……………1・2

奈良県労働者共済生活協同組合60周年……………3

奈良工業高等専門学校生活協同組合25周年…4

奈良県医療福祉生活協同組合10年を振り返って…5

若者応援プロジェクト奈良

Peace Now! 奈良2021……………6

奈良県生協連 第32期通常総会を開催しました

2021年6月26日(土) 奈良ロイヤルホテル



会場の様子

6月26日、奈良県生活協同組合連合会第32期通常総会を開催しました。2020年度事業報告と2021年度事業計画・予算案などが確認され、新たな一年のスタートを切りました。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため代議員27名に対し、会場出席3名、書面議決24名での開催となりました。総会には、理事11名、監事2名、オブザーバー3名も出席し、活動報告や奈良県の生協の1年間の取り組みを共有しました。

森宏之奈良県生協連会長は冒頭の挨拶で、「核兵器廃絶に向けた新たな国際気運が生まれていることは、私たちの人類の未来に希望と勇気を与えており、日本政府に核兵器禁止条約批准を求める声が大きくなってきている。これから署名運動に取り組むこと、SDGs誰も取り残さず安心してらせる地域づくりを課題とし、協同組合の仲間と共に生活協同組合の事業と活動をすすめていく一年としたい」との呼びかけがありました。

今回は、ご来賓のご臨席案内はできませんでしたが全国から多数のメッセージをいただき地域共生社会づくりを目指し新型コロナウイルスに打ち勝ち、事業と生協活動に取り組むことをあらためて確認しました。

司会に福山明浩理事、議長にならコープ代議員の稲野玲子さんが選出され議事に入り、議案の一括提案を行いました。代議員27名中、会場出席3、書面議決24の合計27名の出席で審議採決し、全議案が賛成多数で可決成立しました。

最後に中井信司副会長から以下の閉会挨拶がありました。

コロナ禍でテレワークやオンライン普及などで、人と人が対面で取り組んできた生協運動や活動がこれから大きく変化していきます。3月にビジョン検討委員会を立ち上げ、人口減少、超高齢化、様々な技術の進歩、大規模自然災害の頻発など取り巻く環境の変化の中で、私たち自身の生協運動と事業の担い手を育成していく力、生活様式の変化に対応した組合員参加など運営のあり方等の内部課題に向け学習や検討を始めました。今後、運動と事業のあり方の検討を開始し、次の通常総会に報告できるように協議していくのでご理解とご協力をお願いします。



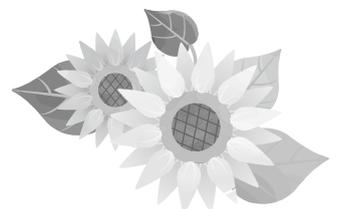
森県連会長



中井県連副会長

2021年度重点課題

- (1) 協同組合の理念を広げ協同の心が息づく取り組みをすすめます
- (2) 諸団体と連携・協同し、安心して暮らせる地域共生社会づくりに参加します
- (3) 平和とよりよいくらしの実現のための社会的諸課題を学び考える場をつくります
- (4) 会員生協の交流と連帯をすすめます
学習や協議をすすめ、第33期通常総会に「2030年ビジョン」を提案します



2021年度の役員体制【理事】

会 長	森 宏之	員外	理 事	橋本 健太	奈良工業高等専門学校生活協同組合
副 会 長	中井 信司	奈良県労働者共済生活協同組合	理 事	福西 啓次	市民生活協同組合ならコープ
専務理事	山本 弘志	員外	理 事	福山 明浩	奈良県医療福祉生活協同組合
理 事	石間奈穂子	奈良教育大学生生活協同組合	理 事	山部 洋幸	奈良県立大学生生活協同組合
理 事	岡田 昭典	生活協同組合コープ自然派奈良	理 事	吉田 由香	市民生活協同組合ならコープ
理 事	加藤 由美	奈良女子大学生生活協同組合	監 事	稲津 和之	奈良県労働者共済生活協同組合
理 事	城本 壘	生活クラブ生活協同組合	監 事	三田 幸子	市民生活協同組合ならコープ

承認された議案

- 第1号議案 2020年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2021年度事業計画及び予算案決定の件
- 第3号議案 定款の一部変更の件
- 第4号議案 役員選任の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件



お疲れさまでした。
今期で退任される
理事



水谷知生さん
(奈良県立大生協)



中野素子さん
(ならコープ)



山中教義さん
(ならコープ)

宜しくお願いします。新任理事



岡田昭典さん
(コープ自然派奈良)



山部洋幸さん
(奈良県立大生協)



吉田由香さん
(ならコープ)



福西啓次さん
(ならコープ)

奈良県労働者共済生活協同組合

創立60周年を迎えて

奈良労済(奈良県労働者共済生活協同組合)は、1961年5月16日の創立総会により設立され、本年5月16日に創立60周年を迎えさせていただくこととなりました。

これもひとえに、みなさまのご支援やご協力、ご指導の賜物であり、長きにわたり労働者共済運動を支えていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

2021年6月からの1年間は、60周年記念事業年度と位置づけ活動を展開いたしますので、60周年記念事業のご紹介をさせていただきます。

60周年記念事業のテーマとコンセプトに加えて、記念事業の実施にあたり「活動の柱」を策定いたしました。

1. 60周年記念事業テーマとロゴマーク

ひと・たすけあい・つむぐ



2. 60周年記念事業コンセプト

人と人がつながり、たすけあいの心を忘れずに、紡いでいこう

3. 60周年記念事業「活動の柱」と「活動の柱」に附随する活動

活動の柱	活動内容
(1) 感謝の表明	①奈良労済60周年記念式典(※1) ②奈良労済60周年記念誌のご案内 ③組合員参加イベント(※1) ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、一旦「中止」といたしました。
(2) 社会貢献活動	①防災イベント ②交通安全啓発イベント ③フードドライブ ④推進系プロジェクト(※2) ※2 見積り・ご加入件数に応じて、「横断旗」、「縄跳び」を寄贈する取り組み
(3) 「たすけあいの輪」拡大活動	①慶弔共済(奈良労済取り扱い共済)のご案内強化活動

節目である60年、労働者共済運動はもとより、共済以外に魅力を感じていただくために、情報発信や社会貢献活動などを強化いたします。私たちの原点である「たすけあい」、この言葉と精神を役職員一同が改めて胆に銘じてスタートいたしました。

引き続き、みなさまの倍旧にも増しますご支援とご協力をお願い申しあげまして、創立60周年のご挨拶と記念事業のご紹介とさせていただきます。



2018年11月3日開催 防災ウィラ(防災イベント)



奈良県労働者共済生活協同組合
理事長 小山 淳二

奈良工業高等専門学校生活協同組合 25年の歩み

奈良高専生協 理事 橋本 健太

奈良高専生協は、この4月で25周年という節目の時を迎えることが出来ました。実は奈良高専生協は、全国に57校ある高等専門学校に初めて設立された生協という、エポックメイキング的な存在であります。さて、そんな奈良高専にどうして生協が設立されることになったのでしょうか。

初代理事長である梅原先生が当時の「共生」に寄せたコラムには、設立の経緯が詳しく書いてあります。元々食堂と購買は別々の業者によって運営されておりましたが、特に食堂の味に対する評判が悪く、中々改善されないため、新しい業者で運営を行う事が学内で決定され、その後継業者として大学生協が選ばれたそうです。

この話を讀んだ際に抱いた感想は、やはり日々の食事というものは組合員にとって非常に関心が高いものであると同時に組合員が毎日美味しいご飯を食べられるように日々の運営を行っていくことが必須であるということです。

そんな想いから設立された奈良高専生協ですが、この25年で大きく躍進しました。設立初年度である96年度には4,206万円だった供給高は、19年度には9,500万円と倍近い数字にまで成長しました。成長の要因は、大学生協だからこそ出来る総合的なサービスにあります。食堂及び購買での飲食物の提供に加え、文房具・雑貨・教科書・教材の販売、研究費での物品購入、入学時の教材・制服等の一括販売、生命共済・学生賠償責任保険の加入斡旋、TOEIC等の各種検定の受付、卒業式用の袴レンタル等々組合員の要望に応えながら多種多様なサービスを提供する事で、組合員及び学校当局からの信頼を得ることが出来ました。

しかしながら、この25年の運営が順風満帆だった訳ではありません。特に忘れてはならないのは過去2度に及ぶ食堂での食中毒事件です。死者こそ出なかったものの組合員が複数名入院するという事態を引き起こしてしまったことは、奈良高専生協にとって本来はあってはならない事態でした。この事件での反省を活かし、食堂部では厳しい衛生基準を設け、日々の運営にあたっています。

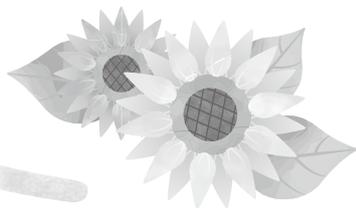
25年前に奈良高専から始まった高専生協の灯火は、仙台、東京、富山、石川、神戸市立、熊本と全国各地の高専生協の設立に繋がりました。

奈良高専生協の様な小さな生協が25年間運営を続ける事が出来たのは、ひとえに県連を始めに県内の生協の皆様からの暖かいご支援の賜物だと思っております。

今後も組合員と共に、26年、30年、40年、50年とこの地で末永く歩んでいけるように、活動を続けて参ります。



総合的なサービスを提供するお店



10年を振り返って

● 奈良県医療福祉生活協同組合 前理事長 仲宗根 迪子

奈良県医療福祉生活協同組合は2012年3月31日、奈良県生協連を母体に9つの会員生協の支援を受けて生まれました。お陰様で来年10周年を迎えます。

2009年6月に日本医療福祉生協連(当時は日本生協連医療部会)から医療生協のない奈良県生協連に医療生協づくりのお誘いがありました。

当時は全国の7道県に医療生協がなかったのですが、全国連を作るにあたって医療生協のない県に働きかけが行われました。30年前に奈良県生協連を立ち上げるにあたって当時の専務理事であった瀧川前会長が、医療生協の創立を模索されたことや医療福祉生協の『いのちの章典』に感銘を受けました。そのこともあり、全国でも会員の少ないコンパクトで和やかな奈良県生協連として、これからの高齢社会での医療を考えると検討してみるに値するかと専務理事を務めていた関係で、私から理事会に提案をしました。全国連の全面的支援とへき地医療に関心を持っておられる家庭医の紹介が大きな判断材料になりました。なにしろ専門性が高い未経験の事業ですから、医療福祉生協連とならコープから職員を派遣していただき、県連では私が担当し調査活動から始めました。コープ自然派奈良の組合員理事さんに看護師経験のある方(現みみなし診療所師長)がおられたのも大きな力になりました。

調査期間中に当初予定した医師の着任が白紙になり断念の判断もありえたのですが、医療福祉生協連より医師紹介の約束をいただき活動を継続することになりました。ただその後、医師確保の難しさを骨身に感じることとなりました。この時断念していたら、おそらく二度と奈良県での医療福祉生協づくりはなかったように思います。

発起人会には学識者や医療生協経験者に加え県連会員生協からも多数名乗りを上げていただき約10か月をかけて創立準備を進めました。各生協の理事会やイベントに参加させていただき役職員や組合員さんに医療福祉生協をお知らせの機会をいただきました。ただ、なかなか医師が決まらず、創立総会の2か月前にやっと着任の同意をいただき、診療内容の議論が始まりました。

創立総会には県、医療福祉生協連・日本生協連、JAならけんや森林組合連合会、マスコミなど多方面の来賓があり、県連理事で発起人に名を連ねていた方々に司会や議長、提案などを分担いただきました。県連総出で設立するという奈良県生協連ならではの機会でした。

2012年8月にみみなし診療所を開所しましたが、開所前の地域訪問には近畿の医療生協の役職員のみなさんや県内生協役職員、奈良教育大学の学生さんも参加いただいて医療生協のアピールをしていただきました。しかし実際の経営は大変厳しいものでした。

外来診療は一旦治療を始めるとなかなか医療機関を変えることはしません。ですから生協の診療所といえどもかかりつけ医を持っている組合員はみみなし診療所には来ませんし、こちらからも転院をお勧めはしません。着任いただいた初代所長は内視鏡検査の専門医で「麻酔を使った楽な検査」の豊富な経験をお持ちでした。県内ではまだまだ実施されている医療機関が少なく、おかげでこの特色をアピールし、元気な人にも保健・予防でお勧めすることができました。自費診療でできる健診と予防接種に組合員向けのプログラムと料金を設定し、元気な人に年に1度は診療所に来ていただくという方針で事業展開しました。健康づくり活動につながり、県連の会員生協にもご協力をいただきました。インフルエンザ予防接種はならコープと協同福祉会の事業所で集団接種を行い、ならコープグループの役職員に、また奈良教育大生協では教職員と学生に、合わせて年間約1200人に接種させていただいています。事業者健診は当初は日生協健保組合健診を受託し(現在は協会けんぽ)、全労済役職員の健診も実施、役職員のみなさまの健康管理にもお役に立てているかと思えます。

こうしてベースになる収入基盤を作りだしましたが、初期投資が大きく、黒字体質を作り上げることができず、ならコープとグループ企業にご支援をいただくことになり、今に至っています。初代所長が昨年2月に退職をいたしました。総合内科医の現在の所長を柱に3人の内視鏡検査医と5人のパート医に支えられて、おかげさまで地域に信頼される診療所になりました。新型コロナウイルス感染症が蔓延していますが、感染予防対策を取り、発熱外来を設け、組合員、来院者の不安に応えられるよう努力しています。

医療福祉生協の特徴の一つが健康づくり運動の展開です。これは全国の医療福祉生協の活動を参考に、組合員理事を中心に新たな活動を創り出しました。健康チェックや健康講座は身近なテーマで行い、親しみやすさから各地で声をかけていただくようになりました。昨年からの新型コロナウイルス感染症のために活動を自粛していますが、毎年約2000人の参加がありました。「当たりまえのように健診を受ける」習慣をつけるために啓発活動し、予防と早期発見に努めています。

社会への発信も生協の大事な役割です。機関紙での情報発信や、県・市町村の保健医療事業に対する協力や要請など取り組んできました。特に新型コロナウイルスの感染拡大時に市民、医療事業者の両方の立場で県へ要請できたことは大事な役割を果たせたと思っています。

奈良県で唯一の医療福祉生協であり、社会保障制度に直接関与できる事業としてまだまだできていないことがありますが、組合員、県民にお役に立てるよう歩んでまいります。今後も県連会員のみなさま方のお力添えをいただきますようお願いし、お礼申し上げます。



創立総会の様子

「若者応援プロジェクト奈良」Fight!

始動しました



奈良県生協連が「コロナ禍で困っている学生の食糧支援をしよう」と呼びかけ、フードバンク奈良、奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、ならコープが参加して若者応援プロジェクト奈良の初めてのフードパントリーを実施しました。

奈良女子大学・奈良教育大学・奈良県立大学の各大学生協がネットを通じて予約募集(定員100名)をしたところ、すぐに定員枠に迫り120名に増やしました。フードバンク奈良やならコープからの食料品、天理教秋津大教会からのお米や労済生協からの雑貨類を(女性



配布した食品(1人分)

には生理用品も追加)120人分に分け、6月16日午後、奈良女子大学キャンパスのすぐ北の天理教梅谷大教会を会場にして無料配布を行いました。コープ自然派奈良や生活クラブ生協の方も加わり、111名の学生さんたちに配布しました。来られなかった方には後日各大学生協から配布しました。「コロナ禍で飲食店のアルバイトが減り、困っていたのでとても助かる」との声やアンケート結果に、「やってよかった」と思う一方で、大学生の置かれた厳しい現状に心を痛み、今後も複数回開催する必要性を実感しました。



天理教梅谷大教会玄関先で学生さんに配布

Peace Now! 奈良(ぴーなら)お試し会の開催

6月27日(日)にならコープふれあいセンター六条で奈良女子大生協、奈良教育大生協3回生の実行委員4名が企画・主催する「Peace Now!奈良お試し会」が開催され、オンライン(Zoom)で1・2回生の学生委員4名が参加しました。

コロナ禍でPeace Now!奈良を直接体験できていないため、来年開催できるようにとの思いで今まで取り組んできた内容(フィールドワーク、戦争体験談、ぴーなら図書館、アウトプット)の一連の流れを参加者に紹介し、次の世代に継承されることを目的に開催されました。

アイスブレイクの後、実行委員から「ぴーならってどういうことをする



実行委員4名

主な内容

・戦争体験

奈良で空襲にあわれた鈴木知英子さんの体験談

・フィールドワークのダイジェスト映像

奈良教育大周辺の奈良聯隊(れんたい)記念碑、興福寺「花之松の碑」奈良県立大側のお地蔵様付近の空襲被害を物語る戦争遺跡について実行委員が説明し、平和への思いを伝えました

・ぴーなら図書館

意外と身近に平和への取り組みは溢れており、ふっと思った時にあなたの好きな分野で平和への取り組みを探してみてください。まずは「知ること」から漠然としていて大きすぎる平和への大きな第一歩を踏み出してみよう



の?」、「伝えたいことって何だろう」、「戦争を他人ごとだと思わないでほしい」「私にとって平和とは」など平和について各自の思いを交流しました。

「私たちが戦争について直接学べる最後の世代であり、この体験と一緒に作っていただけることを願っています」との実行委員のコメントが印象に残りました。来年、参加する学生委員の皆さんが引き継いでこの平和の取り組みを継承し、奈良県生協連も引き続き支援できたらと思います。

県連日誌

4月

1日(木) 県の新体制に伴う訪問
10日(土) 「労働者協同組合法」
成立記念フォーラム
20日(火) 第2回ビジョン検討委員会

17日(月) 第1回組合員理事交流会
実行委員会
20日(木) 第7回生協連理事会
20日(木) 奈良教育大学生協総代会
21日(金) 奈良女子大学生協総代会

10日(木) ならコープ総代会
16日(水) 若者応援PJ奈良
(フードパントリー)
17日(木) ピースアクションをすすめる会
18日(金) 日本生協連第71回通常総会、
コープ自然派奈良総代会
19日(土) 第5回被爆体験集編集委員会、
奈良県医療福祉生協総代会
26日(土) 奈良県生協連第32期通常総
会/2021年度第1回理事会

5月

7日(金) 年度末監事監査
12日(水) ピースアクションをすすめる会
15日(土) 第4回被爆者体験集編集委員会

6月

5日(土) なら消費者ねっと通常総会
7日(月) 生活クラブ生協総代会
8日(火) 奈良県立大学生協総会

「消費生活協同組合の日」が 7月30日と定められました

1948年7月30日消費生活協同組合法(生協法)が公布され、それから70年。多くの組合員と職員に支えられ、日本各地で様々な生協活動が展開されよりよい生活と社会づくりをすすめてきました。2021年日本生協連が創立70周年を迎えることを記念し、一般社団法人日本記念日協会に「消費生活協同組合の日」が登録されました。

寄付金のお願い

若者応援プロジェクト奈良

「コロナ禍で困っている若者・学生の食糧支援をしよう」と奈良県生協連が事務局をにない、会員生協、フードバンク奈良とともに実行委員会をつくり広く寄付を募っています。

口座名義	奈良県生活協同組合連合会
金融機関	南都銀行 南支店
普通預金口座	2226568

寄付金は学生支援の目的以外には使用しません。

編集後記

中・高年になると多い五十肩(肩関節周囲炎)に悩まされています。医師から直々のストレッチであまりの痛さで悲鳴をあげました。しかし、わずか5分程度しただけで実施前と実施後で左腕の上がりが方が格段によくなり、痛みも治まり、効果を実感!! お風呂で温めてストレッチで筋肉をほぐすように指示を受けました。周囲から個別の治療法を直伝いただきましたがまずは地道にストレッチで治療していきます。(弘)

妻が「娘があす素麺食べに行こうと言っている」。私「なんで、どうしたん?」。妻は「父の日だからよ」。この間気温が上がったこともあり「素麺食べたい」といつていたなあ…。あの娘がそんなことを…。結局その日は仕事があつて行けなかったが、ちよつと距離のあつた(私が勝手に思っていた)娘の想いに思わず涙腺が緩んだ。(和)

私に関わるフードバンク奈良では、2020年度はコロナ禍の影響から食料支援を求める団体や人が急増し事業が急拡大しました。コロナ禍が長く引く中、大学生のアルバイトも激減し生活に困っているとの声を聞き、奈良県生協連では6月に大学生への食の支援を、フードバンク奈良をはじめ様々な団体と共に開始しました。コロナ禍が落とす影が大きいことをあらためて実感しています。(順)

今年の実家の梅の実が数年ぶりにたくさんできました。父が毎年収穫しては梅干しをつけていましたが、今は私一人。脚立に乗る勇氣もなく、梅を落として収穫することにしました。6キロ以上の梅は梅干しと梅シロップになって、ただいま我が家で熟成中です。美味しくいただける日を楽しみにしています。(佳)